

単元名 1けたでわるわり算の筆算

配当時間 10時間

単元の目標 (1) (被除数) = (除数) × (商) + (余り) の関係を理解し, (2, 3 位数) ÷ (1 位数) の筆算や (2 位数) ÷ (1 位数) の暗算, 答えの確かめができる。
 (2) (2, 3 位数) ÷ (1 位数) の計算の仕方を考え, 説明することができる。
 (3) わり算の筆算や暗算のよさに気付き, 進んで具体的な問題の解決に活用しようとする。

標準的な展開例

04040104_001

【準備等】色紙や計算棒, お金の模型

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 (2 位数) ÷ (1 位数) で, 商が 2 位数になる計算の仕方を考える。[p. 38・p. 39] ○色紙72枚を 3 人に同じ数ずつ分けたときの式を考える。 ○72 ÷ 3 の計算方法を考え, 話し合う。</p> <p>○わり算の答えを商ということを知る。 ○単元の学習課題をつかむ。 ★1 けたの数でわるわり算の筆算のしかたについて考えていこう。</p> <p>2 (2 位数) ÷ (1 位数) で, 商が 2 位数になる筆算の仕方を考える。[p. 40・p. 41] ○本時の学習課題をつかむ。 ★72 ÷ 3 のようなわり算の筆算のしかたを考えよう。 ○72 ÷ 3 の筆算の方法を考える。</p> <p>○計算の仕方を声に出しながら, 72 ÷ 3 の筆算に取り組む</p> <p>○筆算の考え方を確認する。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>3 (2 位数) ÷ (1 位数) で, 余りのある場合の筆算をする。[p. 42] ○本時の学習課題をつかむ。 ★あまりのあるわり算の筆算のしかたを考えよう。 ○93 ÷ 4 の筆算をし, 答えを求める。</p> <p>○余りのある除法の計算について, 答えの確かめをする。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>4 (2 位数) ÷ (1 位数) で, 桁ごとに割り切れたり, 商の一の位に 0 を立てたりする筆算の仕方を考える。[p. 43] ○本時の学習課題をつかむ。 ★ひいて 0 になるわり算の筆算のしかたを考えよう。 ○68 ÷ 2 の計算の仕方を考える。</p> <p>○83 ÷ 4 の計算の仕方を考える。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>5 練習問題に取り組む。 [p. 44] ○「練習」に取り組む。</p>	<p>・色紙や計算棒の操作を通して, 具体的に計算の仕方を考えさせる。</p> <p>・色紙や計算棒などの具体物を使い, まず10の束を分け, その後, 残った10の束をくずして再び分けることに気付かせる。 【評】色紙や計算棒を等分する具体的操作を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・かけ算の筆算を想起させ, わり算も筆算ができることを知らせる。</p> <p>・前時の学習を想起させ, 筆算の形式と具体物の計算と結び付けさせる。</p> <p>・72 ÷ 3 の筆算は, 「72」→「」→「——」→「3」の順で書くことを知らせる。筆算は, 大きい位の十の位から計算することを確認する。 ・声に出しながら, 「たてる」→「かける」→「ひく」→「おろす」の手順を身に付けさせる。</p> <p>・十の位に立てた 2 や一の位に立てた 4 が, それぞれ $20 \times 3 = 60$ や $4 \times 3 = 12$ を表していることを確認する。 ・声に出して唱えさせて, 正しい書き方や計算の手順を確認させる。 【評】除法の筆算に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・(被除数) = (除数) × (商) + (余り) の関係を知り, 余りは除数より小さいことに注意させる。</p> <p>・筆算の計算の手順を確認しながら計算をさせる。商と余りの位置を確認し, 問題文に合う答えを書かせる。 ・第3学年「あまりのあるわり算」で学習した答えの確かめの仕方も想起させ, 「除数 × 商 + 余り = 被除数」を活用し, 答えを確かめさせる。 ・答えの確かめも行わせる。 【評】除法の筆算に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・筆算の計算の手順を使って, 0 の処理が適切にできるようにする。</p> <p>・十の位の数を引いて 0 になった場合は, 0 を書かないように注意させる。 ・一の位の 3 は 4 で割れないことから, 一の位の商は 0 を立てることに気付かせる。 ・早く解けた児童には, 答えの確かめを行わせてもよい。 【評】除法の筆算に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・つまづいている児童には, 個別指導を十分に行い, 原因を明確にさせる。 【評】(2 位数) ÷ (1 位数) の筆算に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する</p>

<p>6 (3位数) ÷ (1位数) で、商が3桁になる筆算をする [p. 45] ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ (3けた) ÷ (1けた) の筆算をしよう。 ○ $834 \div 3$ の筆算の仕方を考え、話し合う。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>7 (3位数) ÷ (1位数) で、商が2桁になる筆算をする [p. 46・p. 47] ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ たてる数に気をつけて、わり算の筆算のしかたを考えよう。 ○ $642 \div 6$ の筆算の仕方を考え、話し合う。</p> <p>○ $252 \div 6$ の筆算の仕方を考える。</p> <p>○ $242 \div 3$ の筆算の仕方を考える。 ○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>○ 商に0が立つときの簡単な仕方を知る。</p> <p>8 練習問題に取り組む。 [p. 48] ○ 「練習」に取り組む。</p> <p>9 簡単な(2位数) ÷ (1位数) の暗算をする。 [p. 49] ○ 問題文を読み、式を考える。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ (2けた) ÷ (1けた) の計算を暗算でしてみよう。 ○ $75 \div 3$ の暗算をする。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>10 単元を振り返り、確認問題に取り組む。 [p. 50・p. 51] ○ 「たしかめよう」に取り組む。</p> <p>○ 学習の振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 位数が増えても、既習の知識を用いて計算できることに気付かせる。 ・ 既習の筆算と比較させ、異なる点や共通点を話し合わせる。 ・ 被除数が3位数の場合も、「たてる」→「かける」→「ひく」→「おろす」の手順で筆算できることを確認する。 【評】 (3位数) ÷ (1位数) の筆算をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 問題を出し合った筆算の答えの確かめは、「除数×商+余り=被除数」になることを活用させる。答えが違う場合は、次時以降に考えることを伝える。 ・ 商に0が立つときの筆算の方法を身に付けさせる。 ・ 前時の除法の筆算と比較させ、異なる点(十の位に0が立つ)を話し合わせる。 ・ 商がどの位から立つか考えさせる。商の百の位の部分は「0」になるが、書かないことを確認する。 【評】 $252 \div 6$ の筆算の仕方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 商の一の位に0を立てることに気付かせる。 【評】 (3位数) ÷ (1位数) の筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 商に0が立つ場合、途中の計算を省き、簡単にすることができる方法を知らせる。ただし商には0を忘れずに書くことを確認する。 ・ つまづいている児童には、個別指導を十分に行い、原因を明確にさせる。 【評】 (3位数) ÷ (1位数) の筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ お金の模型を用意し、何円くらいになるか予測させてから計算させる。 ・ お金を払う場面であることを把握させ、暗算で計算することの必要性に気付かせる。 ・ 暗算する方法を考えていくことを伝え、学習課題につなげる。 ・ お金の模型を操作させながら、$75 \div 3$ の方法を考えさせる。 ・ 簡単なわり算は、暗算でできるようにすることを伝える。 【評】 簡単な除法の暗算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。 ・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。 【評】 問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 1桁でわるわり算の筆算について分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。
---	---

【 備 考 】
第3学年では、除法について、数量の関係に着目し、除法の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすることなどを学習してきている。
第4学年では、整数の除法の筆算での計算の仕方について指導し、多数桁の除法が基本的な計算を基にしてできることを理解させるとともに、桁数の多い計算の仕方を発展的に考えるなど整数の計算の能力を定着させ、それを生活や学習に用いる態度を育むようにする。
本単元については、プログラミング的思考を扱うこともできる。